

別添資料

近代製糸業の主流であった座繰工場の形式を伝える

- 〔 名 称 〕 旧昭和興業製糸場
- 〔 所在地 〕 松本市大字島立字新切 2196-1 他
- 〔 特徴・評価 〕 松本市歴史の里に移築保存した製糸場繰糸所。北正面の木造平屋建、切妻造鉄板葺で、東から揚返場、繰糸場を並べ、正面西端の突出部に煮繭場を設ける。腰高の連続硝子窓や棟全体に通した越屋根など、近代製糸業の主流であった座繰工場の形式を伝える。
- 〔 備考 〕 平成 8 年に下諏訪町から現在地に移築。工場は平成 7 年まで操業。
- 〔 種 別 〕 建築物 産業 2 次
- 〔 登録基準 〕 ( 2 ) 造形の規範となっているもの
- 〔 問合せ先 〕 松本市教育委員会 文化財課 電話 0263-34-3292  
松本市立博物館分館 松本市歴史の里 電話 0263-47-4515

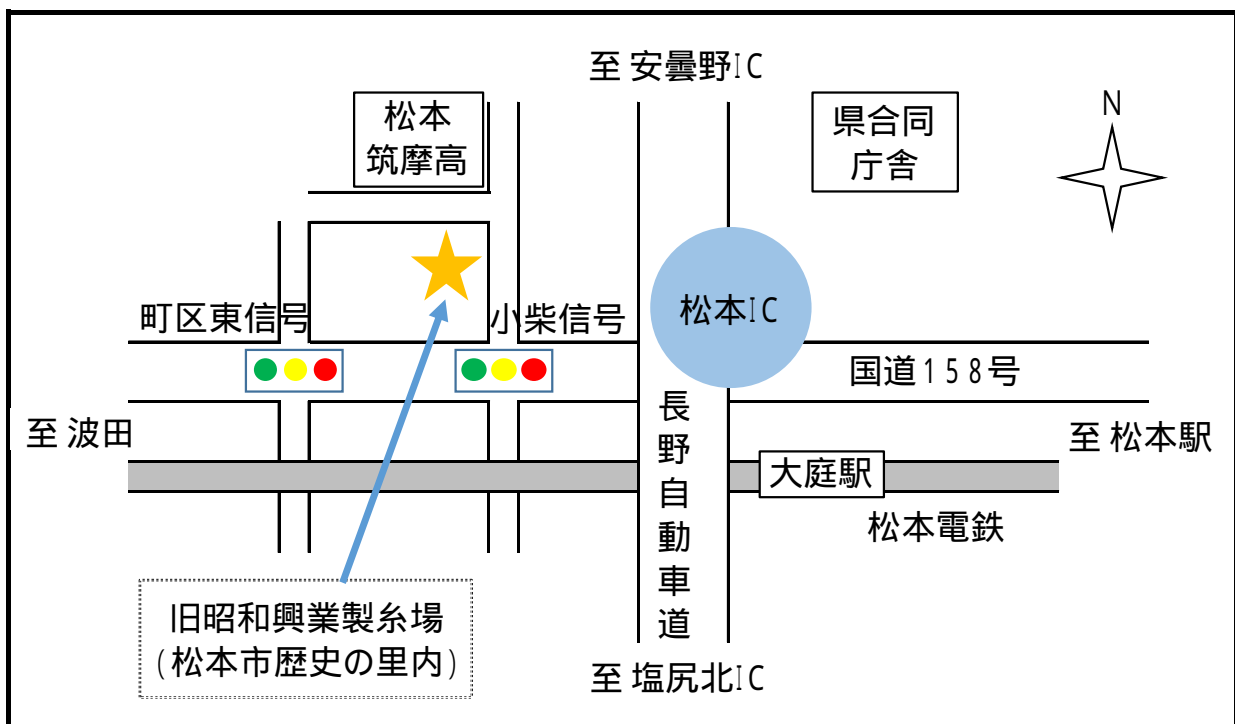


外観（南西より撮影）



内観（繰糸場）

写真提供：松本市教育委員会



## 山村景観の核をなす豪壮な民家

〔 名 称 〕 旧北澤家住宅主屋

〔 所 在 地 〕 大町市八坂 908

〔 特徴・評価 〕 市東部の山間にある集落の庄屋宅。間口の広い寄棟造茅葺（鉄板仮葺）の二階建、軒出桁造で、南正面の東寄りに玄関、二階中央に縁を出す。西に土間、東に四列に室を並べ、土間に重厚な梁組を現し、東端列奥を上質な座敷とする。山村景観の核をなす豪壮な民家。

〔 備 考 〕 明治後期に2階を居室や蚕室に改修、昭和50年代に屋根を鉄板仮葺とした。北澤家は近世に庄屋を務め、当地が松本藩鷹場であったことから藩役人等の宿所を兼ねた可能性がある。

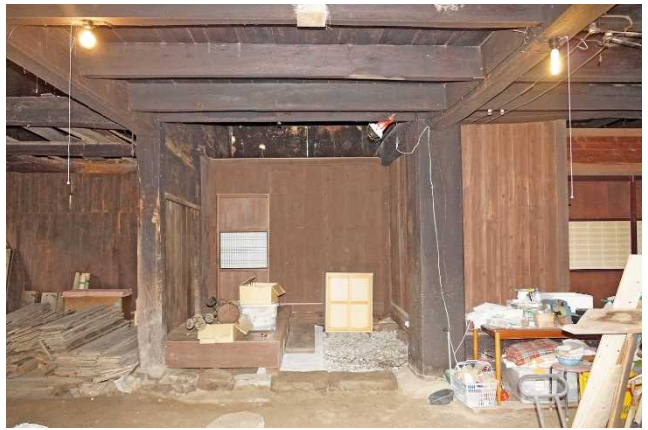
〔 種 別 〕 建築物 住宅

〔 登録基準 〕 (1) 国土の歴史的景観に寄与しているもの

〔 問合せ先 〕 大町市教育委員会 生涯学習課（大町市文化財センター） 電話 0261-23-4760



外観（正面南面）



内観（土間）

写真提供：大町市教育委員会

